

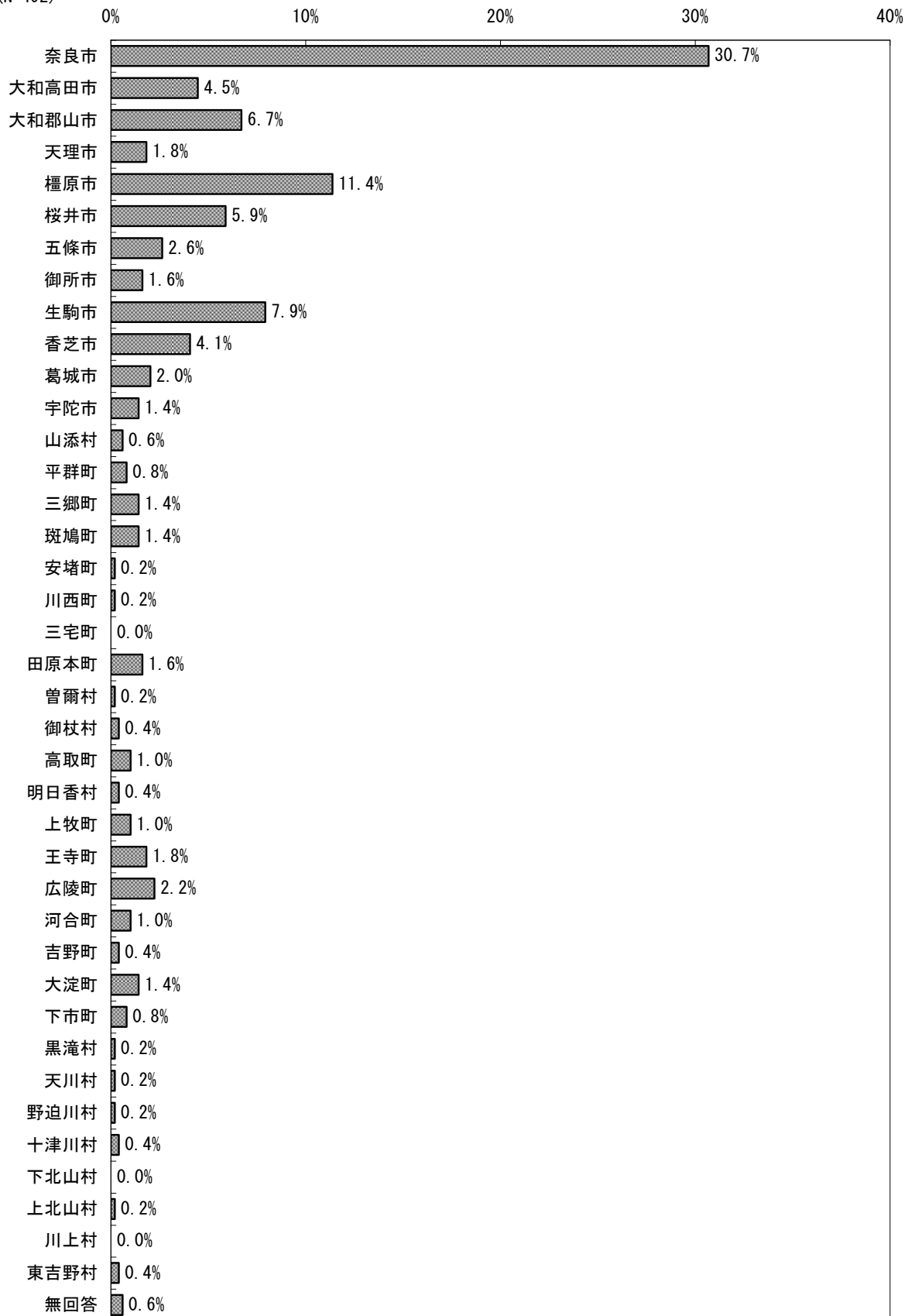
## 7. 医師調査の結果

# 1 回答者の属性

問1 貴診療所の所在市町村はどこですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

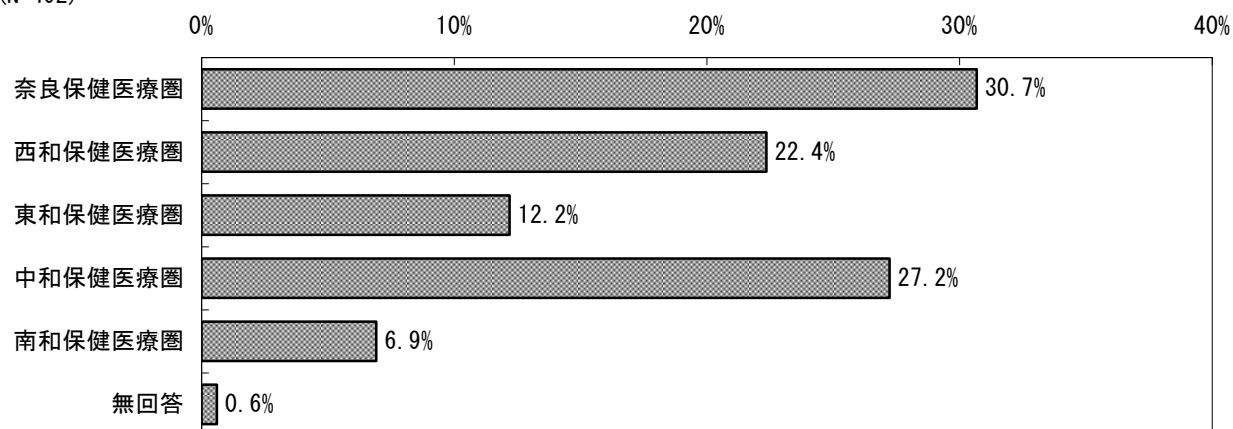
図表488 所在市町村

(N=492)



図表489 保健医療圏域別

(N=492)

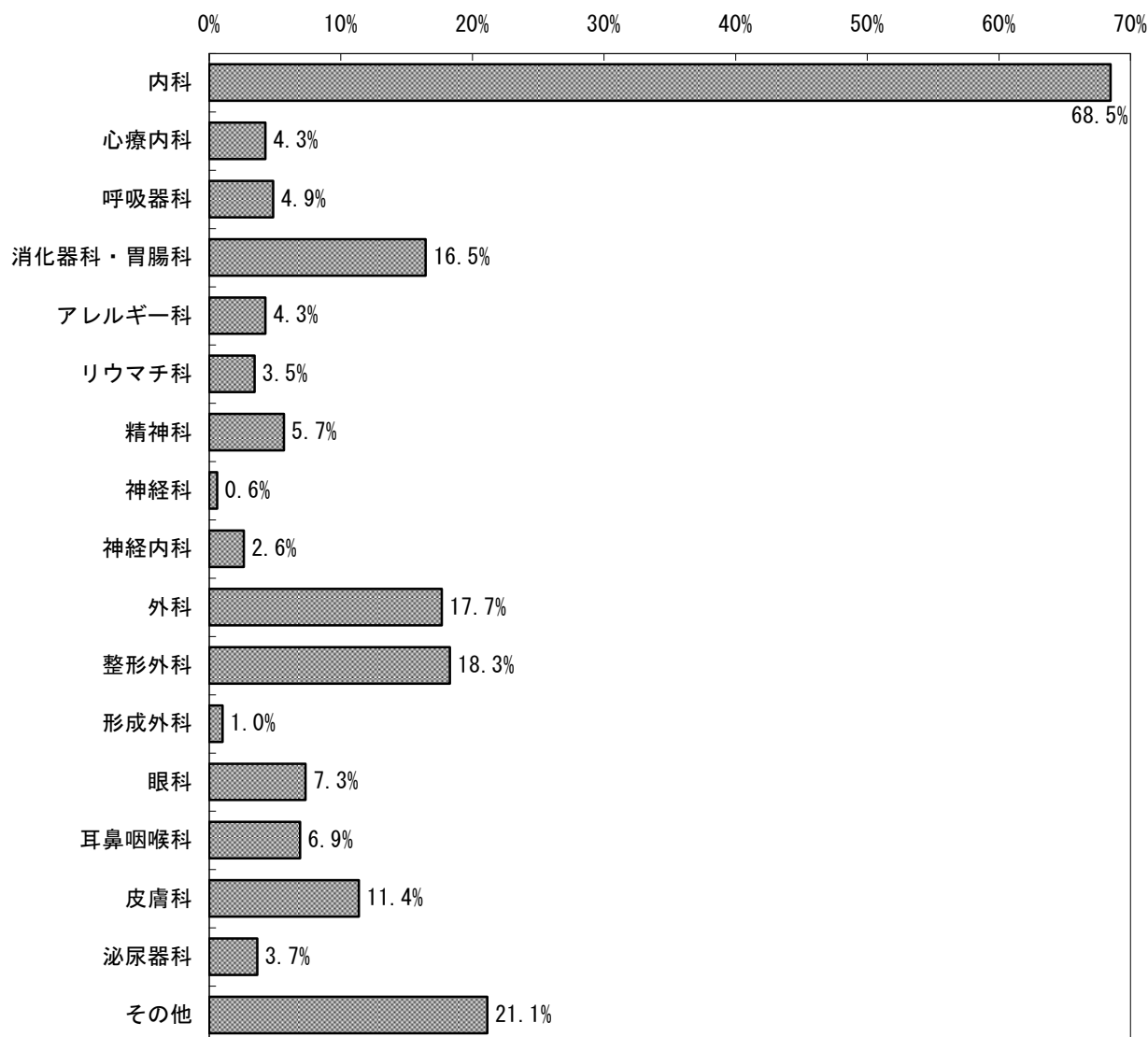


所在地域について保健医療圏別にみると、「奈良保健医療圏」が30.7%で最も多く、以下、「中和保健医療圏」が27.2%、「西和保健医療圏」が22.4%、「東和保健医療圏」が12.2%、「南和保健医療圏」が6.9%となっている。

問2 貴診療所の標榜診療科目はどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

図表490 標榜診療科目（複数回答）

(N=492)



標榜診療科目についてたずねたところ、「内科」が68.5%で最も多く、以下、「整形外科」が18.3%、「外科」が17.7%、「消化器科・胃腸科」が16.5%などとなっている。

【その他】

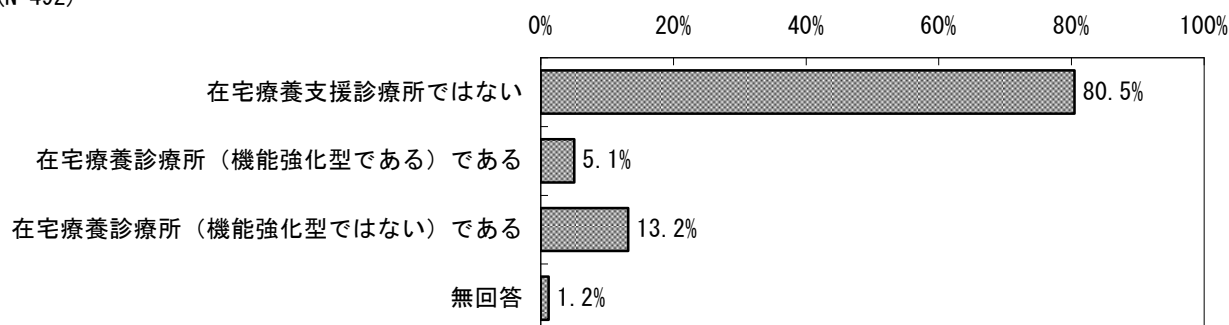
「その他」21.1%の内訳についてみると、自由記述は103件となっている。

複数みられる回答は「小児科」が38件、「リハビリテーション科」が18件、「放射線科・レントゲン科」が13件などとなっている。

問3 貴診療所は在宅療養支援診療所ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

図表491 在宅療養支援診療所かどうか

(N=492)



在宅療養支援診療所かどうかについてたずねたところ、「在宅療養支援診療所ではない」が80.5%で最も多く、以下、「在宅療養診療所（機能強化型ではない）である」が13.2%、「在宅療養診療所（機能強化型である）である」が5.1%となっている。

#### 用語説明

##### 【在宅療養支援診療所】

地域において在宅医療を支える24時間の窓口として、他の病院、診療所等と連携を図りつつ、24時間往診、訪問看護等を提供する診療所のこと

##### 【在宅療養診療所（機能強化型）】

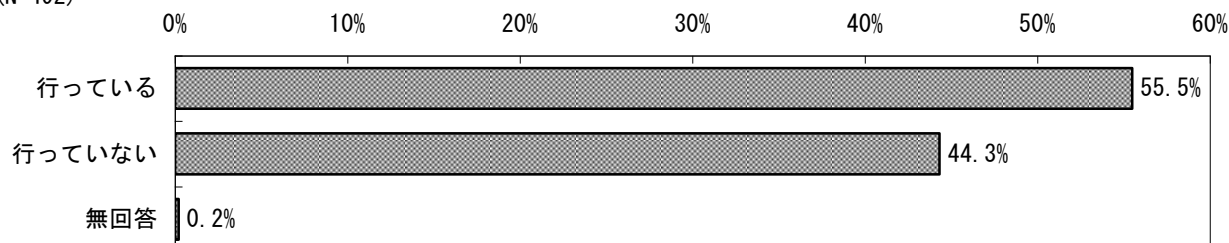
在宅療養支援診療所の中でも、複数の医師が在籍し、緊急往診と看取りの実績を有する医療機関のこと

## 2 在宅医療の実施状況について

問4 貴診療所では、訪問診療や往診などの在宅医療を行っていますか。どちらか1つに○をつけてください。

図表492 在宅医療の実施状況

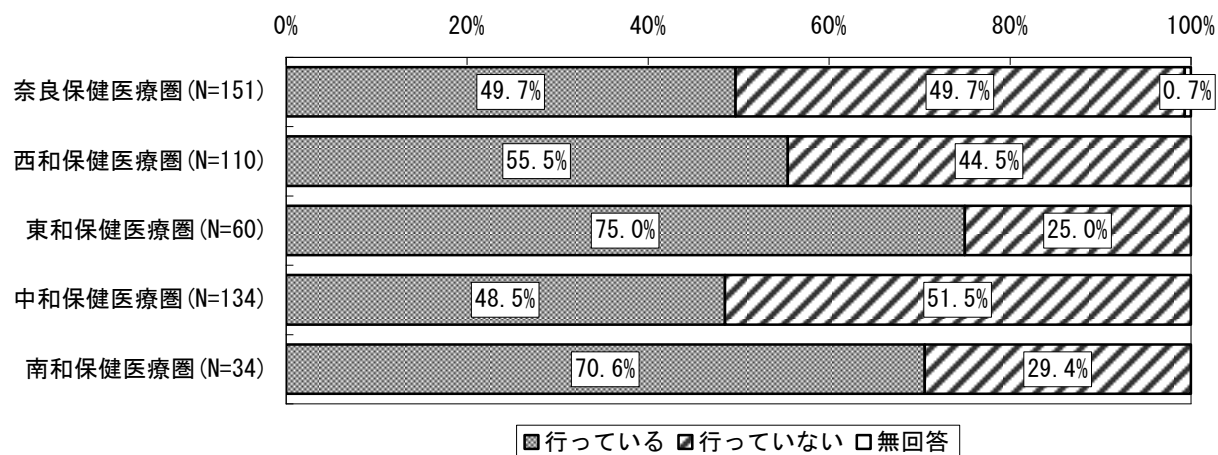
(N=492)



在宅医療の実施状況をたずねたところ、「行っている」は55.5%、「行っていない」は44.3%となっている。

### 【保健医療圏域別】

図表493 保健医療圏域別 在宅医療の実施状況

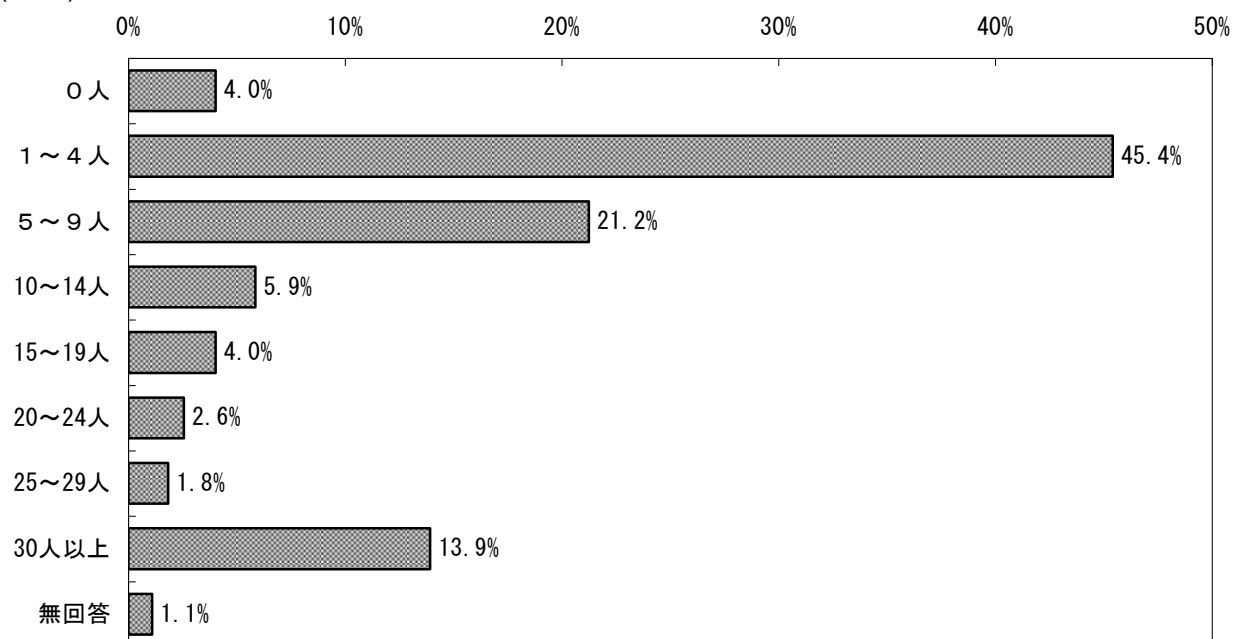


保健医療圏域別に在宅医療の実施状況をみると、「東和保健医療圏」、「南和保健医療圏」では「行っている」が7割を超えており、「西和保健医療圏」では55.5%、「奈良保健医療圏」、「中和保健医療圏」では5割未満となっている。

問5 問4で選択肢「1」とお答えの診療所にお聞きします。貴診療所で在宅医療を行っている患者の人数は何人ですか。あてはまるもの1つだけに○をつけてください。

図表494 在宅医療実施患者数

(N=273)

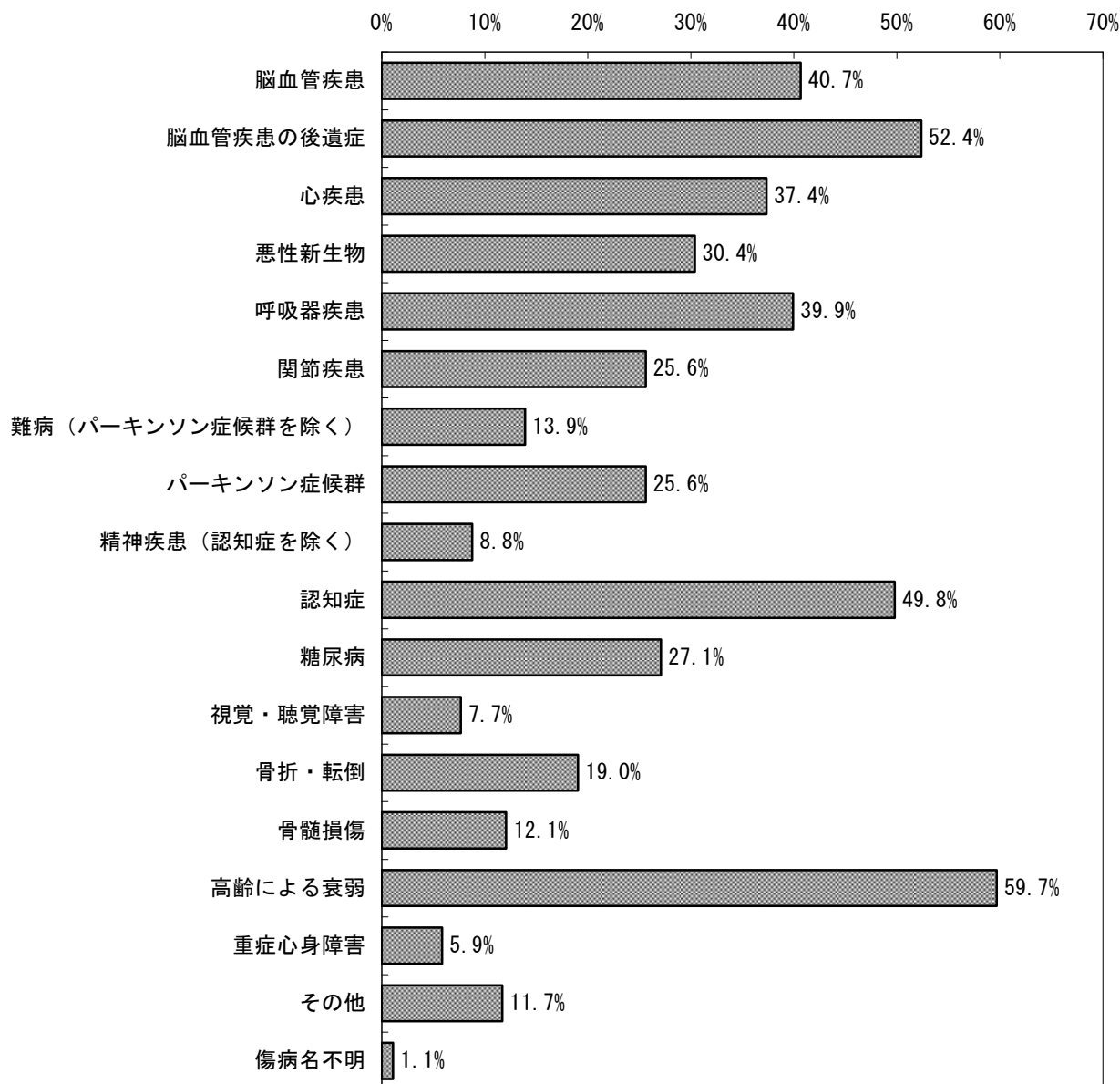


在宅医療を行っている患者数をたずねたところ、「1～4人」が45.4%と最も多く、以下、「5～9人」が21.2%、「30人以上」が13.9%などとなっている。

問6 問4で選択肢「1」とお答えの診療所にお聞きします。貴診療所で在宅医療を行っている患者の傷病等の種類はどのようなものがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

図表495 在宅医療実施患者の疾病種類（複数回答）

(N=273)



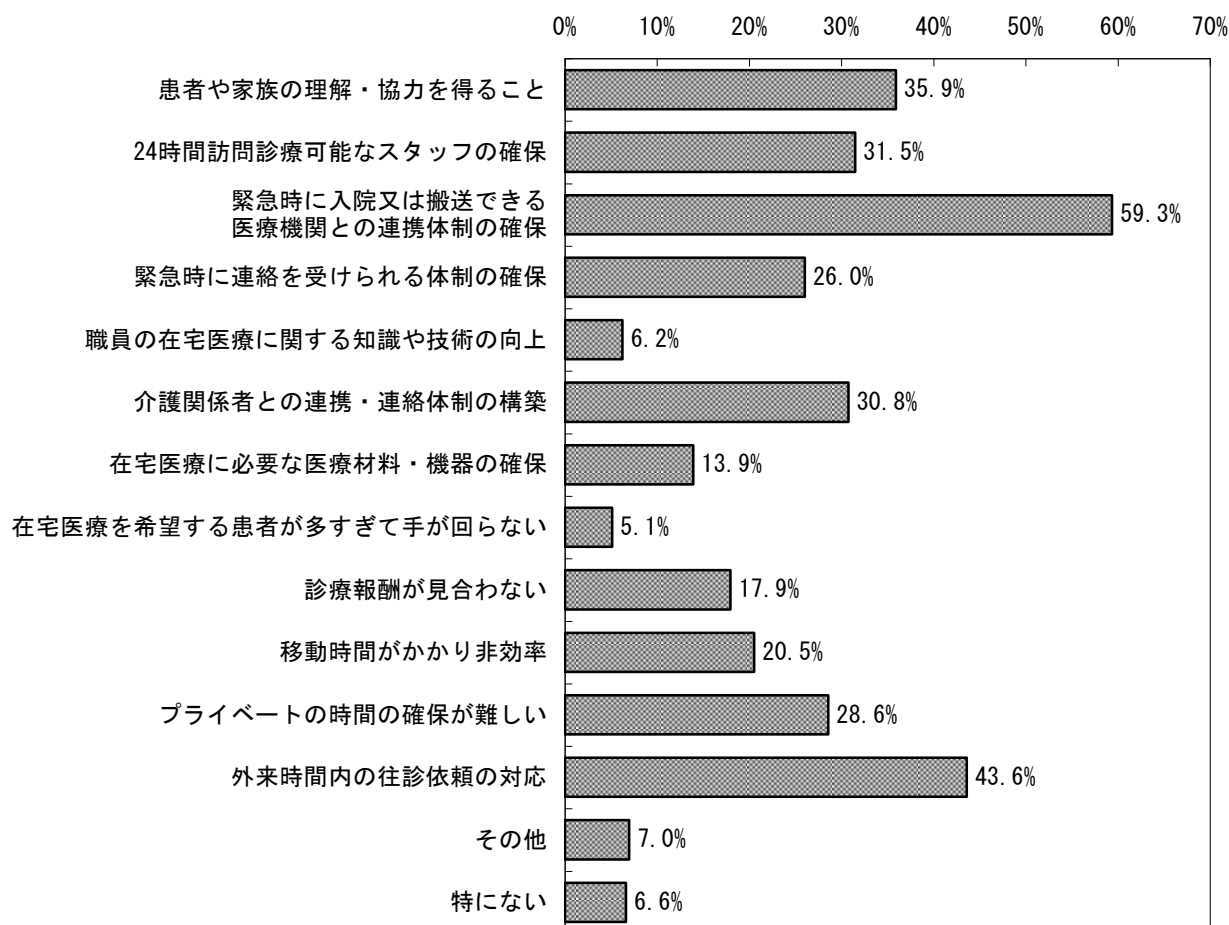
在宅医療を行っている診療所に対して、患者の傷病等の種類をたずねたところ、「高齢による衰弱」が59.7%と最も多く、以下、「脳血管疾患の後遺症」が52.4%、「認知症」が49.8%などとなっている。



問7 問4で選択肢「1」とお答えの診療所にお聞きします。貴診療所が在宅医療を行われる上でどのような苦勞がありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

図表496 在宅医療実施上の苦勞（複数回答）

(N=273)

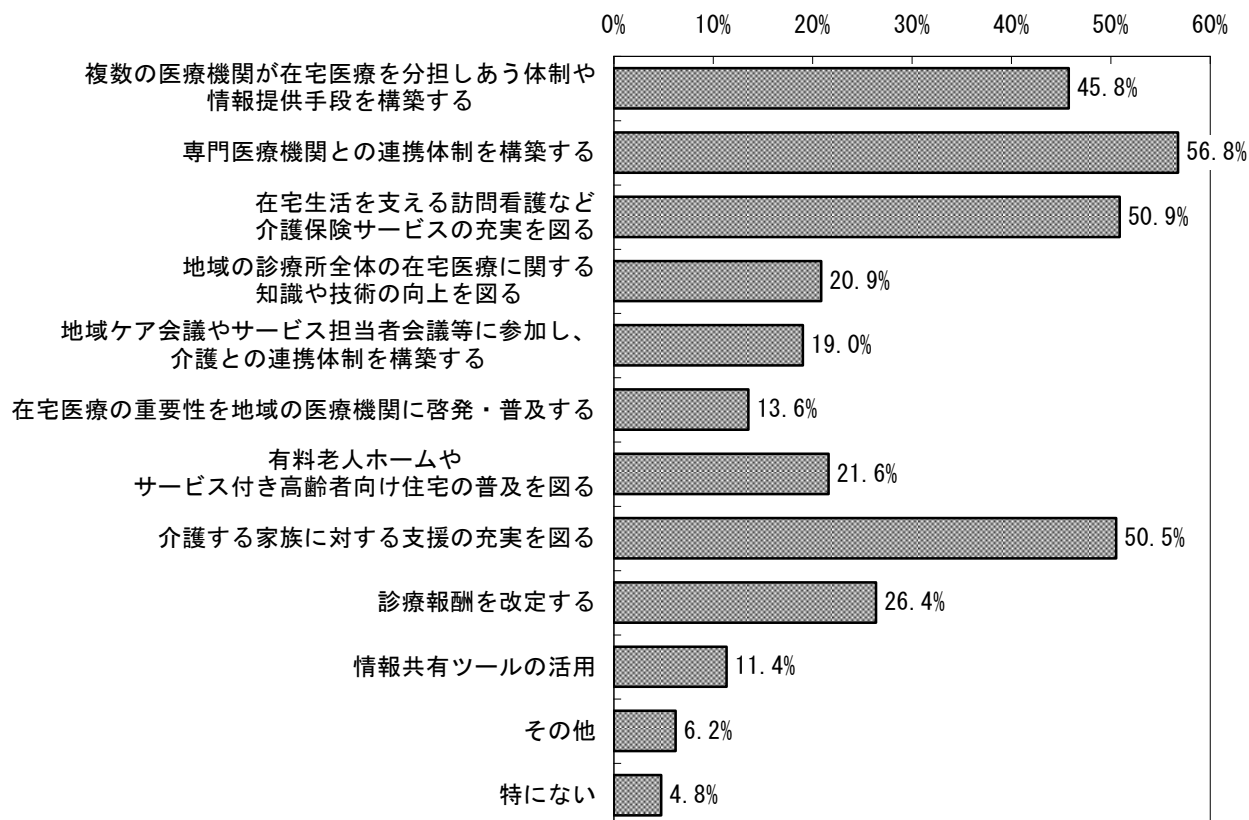


在宅医療を行っている診療所に対して、どのような苦勞があるかたずねたところ、「緊急時に入院又は搬送できる医療機関との連携体制の確保」が59.3%と最も多く、以下、「外来時間内の往診依頼の対応」が43.6%、「患者や家族の理解・協力を得ること」が35.9%などとなっている。

問8 問4で選択肢「1」とお答えの診療所にお聞きします。今後、在宅医療・在宅ケアを促進するために、どのような取組が重要だと考えていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

図表497 在宅医療・在宅ケアに必要な取組（複数回答）

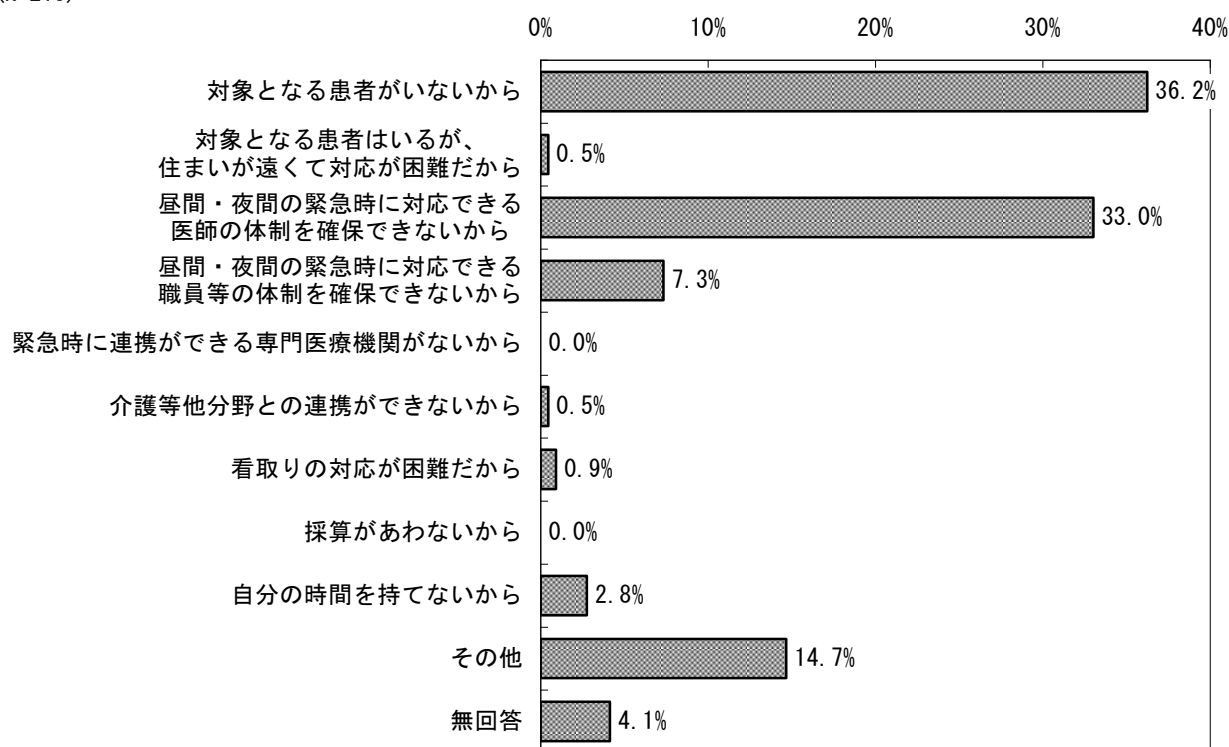
(N=273)



在宅医療を行っている診療所に対して、今後、在宅医療・在宅ケアを促進するために重要な取り組みをたずねたところ、「専門医療機関との連携体制を構築する」が56.8%と最も多く、以下、「在宅生活を支える訪問看護など介護保険サービスの充実を図る」が50.9%、「介護する家族に対する支援の充実を図る」が50.5%、「複数の医療機関が在宅医療を分担しあう体制や情報提供手段を構築する」が45.8%などとなっている。また、「特にない」は4.8%となっている。

問9 問4で選択肢「2」とお答えの診療所にお聞きします。貴診療所が訪問診療や往診など在宅医療を行っていない主な理由は何ですか。主なもの1つに○をつけてください。

図表498 在宅医療を行っていない主な理由  
(N=218)



在宅医療を行っていない診療所に対して、その主な理由をたずねたところ、「対象となる患者がないから」が36.2%と最も多く、以下、「昼間・夜間の緊急時に対応できる医師の体制を確保できないから」が33.0%、「昼間・夜間の緊急時に対応できる医師の体制を確保できないから」が7.3%などとなっている。

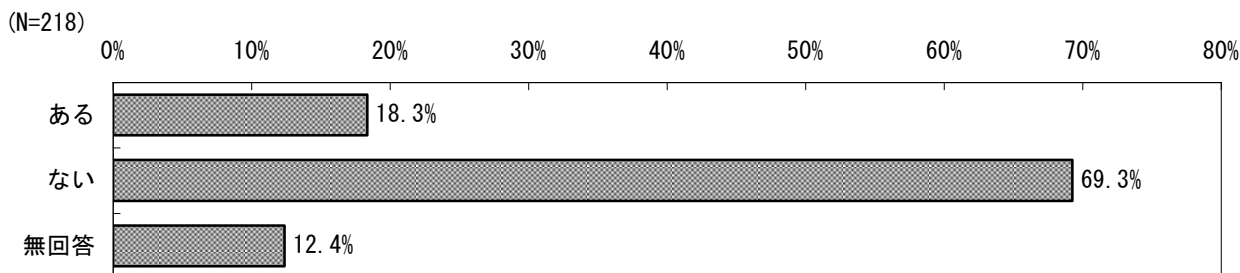
【その他】

その他14.7%の内訳についてみると、自由記述は30件となっている。

複数みられる回答は、「体力・年齢的に困難だから」が7件、「忙しいから」が6件、「施設内診療所だから」が6件などとなっている。

問10 問4で選択肢「2」とお答えの診療所にお聞きします。今後とも高齢者の医療ニーズの高まりが見込まれますが、貴診療所では在宅医療を行う予定や意思はありますか。どちらか1つに○をつけてください。

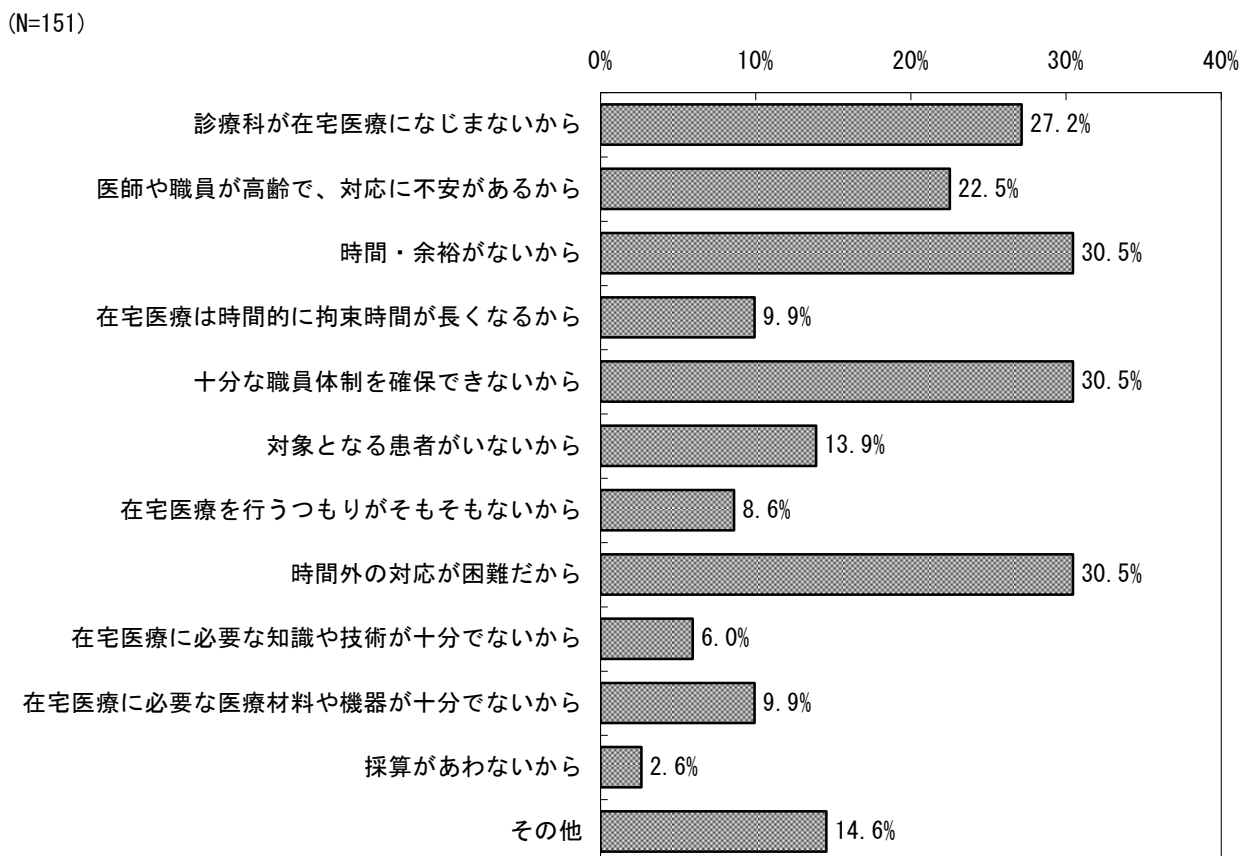
図表499 在宅医療参入意向の有無



在宅医療を行っていない診療所に対して、今後、在宅医療を行う予定や意思があるかたずねたところ、「ない」が69.3%、「ある」が18.3%となっている。

問11 問10で選択肢「2」とお答えの診療所にお聞きします。貴診療所が今後とも在宅医療を行う予定や意思がない主な理由は何ですか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

図表500 在宅医療に参入しない理由（複数回答）



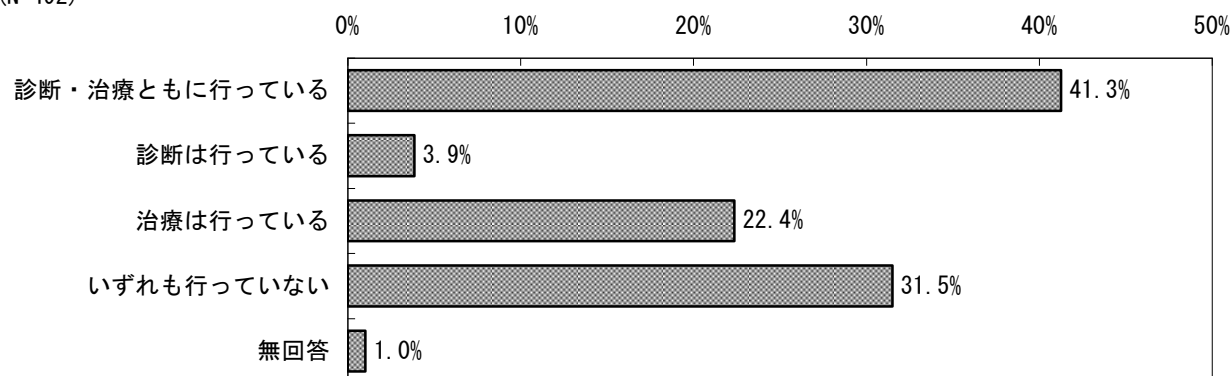
今後在宅医療を行う予定や意思がない診療所に対して、その主な理由をたずねたところ、「時間・余裕がないから」、「十分な職員体制を確保できないから」、「時間外の対応が困難だから」はともに30.5%となっている。以下、「診療科が在宅医療になじまないから」が27.2%、「医師や職員が高齢で、対応に不安があるから」が22.5%などとなっている。

### 3 認知症患者への対応について

問12 貴診療所では、認知症に関する診断・治療を行っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

図表501 認知症に関する診断・治療の実施状況

(N=492)

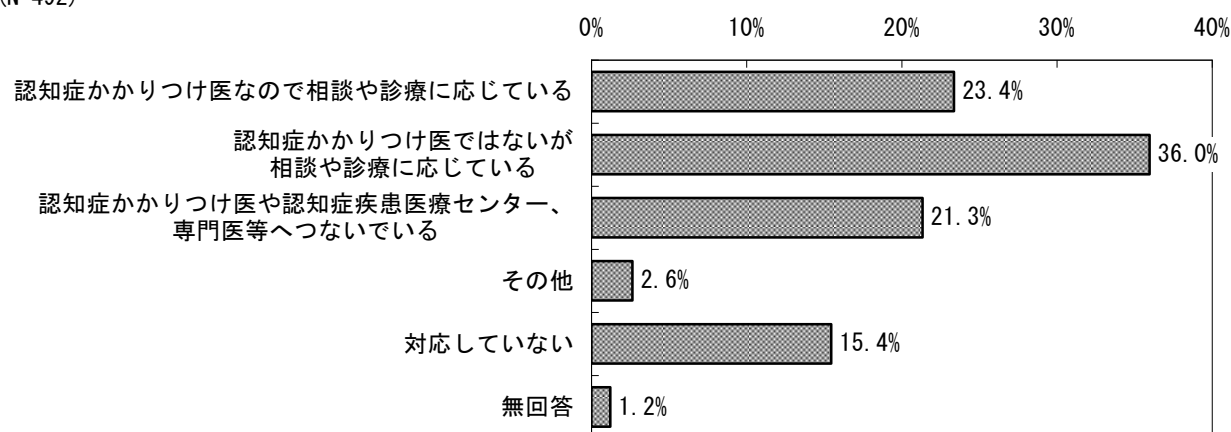


認知症に関する診断・治療を行っているかたずねたところ、「診断・治療ともに行っている」が41.3%と最も多く、以下、「いずれも行っていない」が31.5%、「治療は行っている」が22.4%、「診断は行っている」が3.9%となっている。

問13 貴診療所では認知症の患者やその家族等が来院されればどのように対応していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

図表502 認知症患者やその家族の来院に対する対応状況

(N=492)



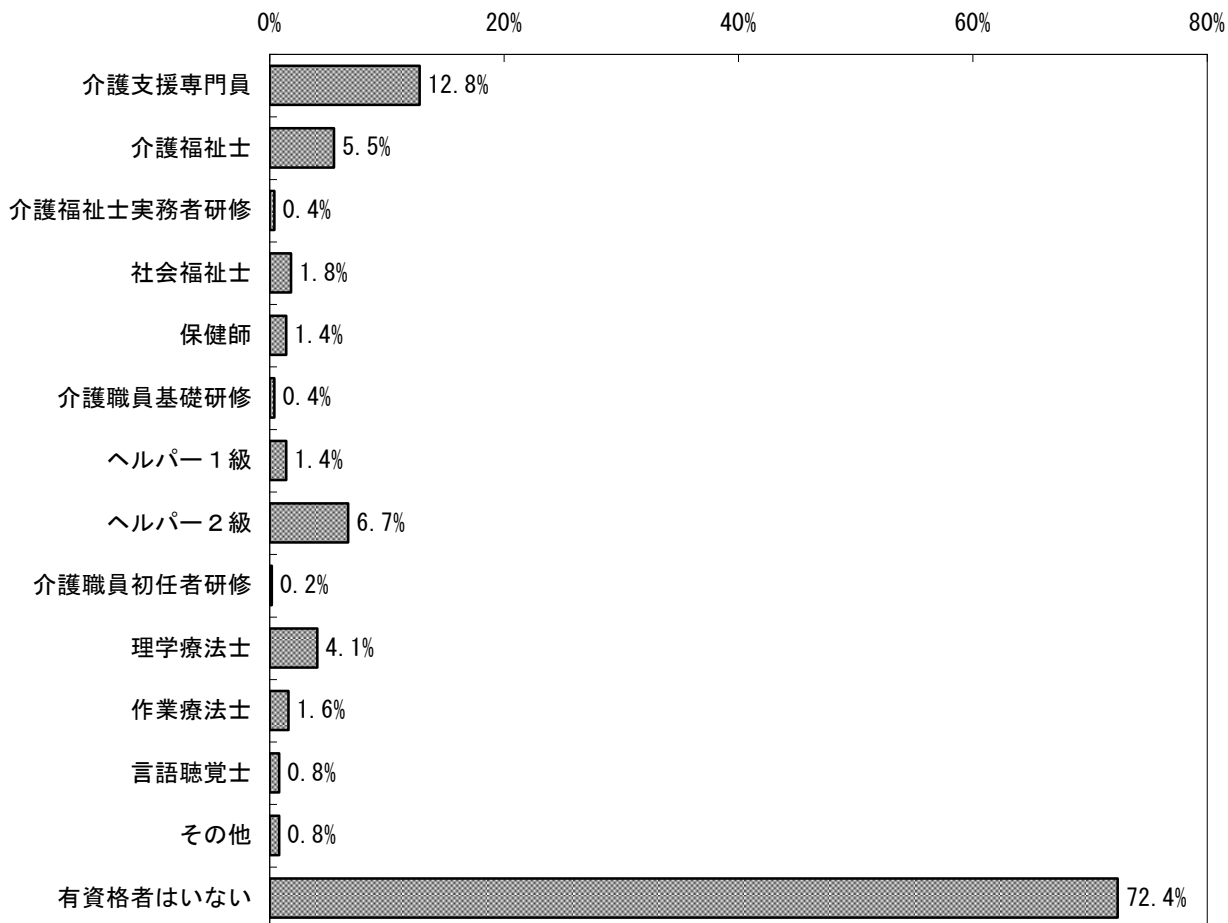
認知症の患者やその家族が来院した際の対応をたずねたところ、「認知症かかりつけ医ではないが相談や診療に応じている」が36.0%と最も多く、以下、「認知症かかりつけ医なので相談や診療に応じている」が23.4%、「認知症かかりつけ医や認知症疾患医療センター、専門医等へつないでいる」が21.3%などとなっている。また、「対応していない」は15.4%となっている。

## 4 介護保険に係る事業の実施状況について

問14 貴診療所には介護保険制度に関係する有資格者が在籍していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

図表503 介護保険制度に係る有資格者の在籍状況（複数回答）

(N=492)

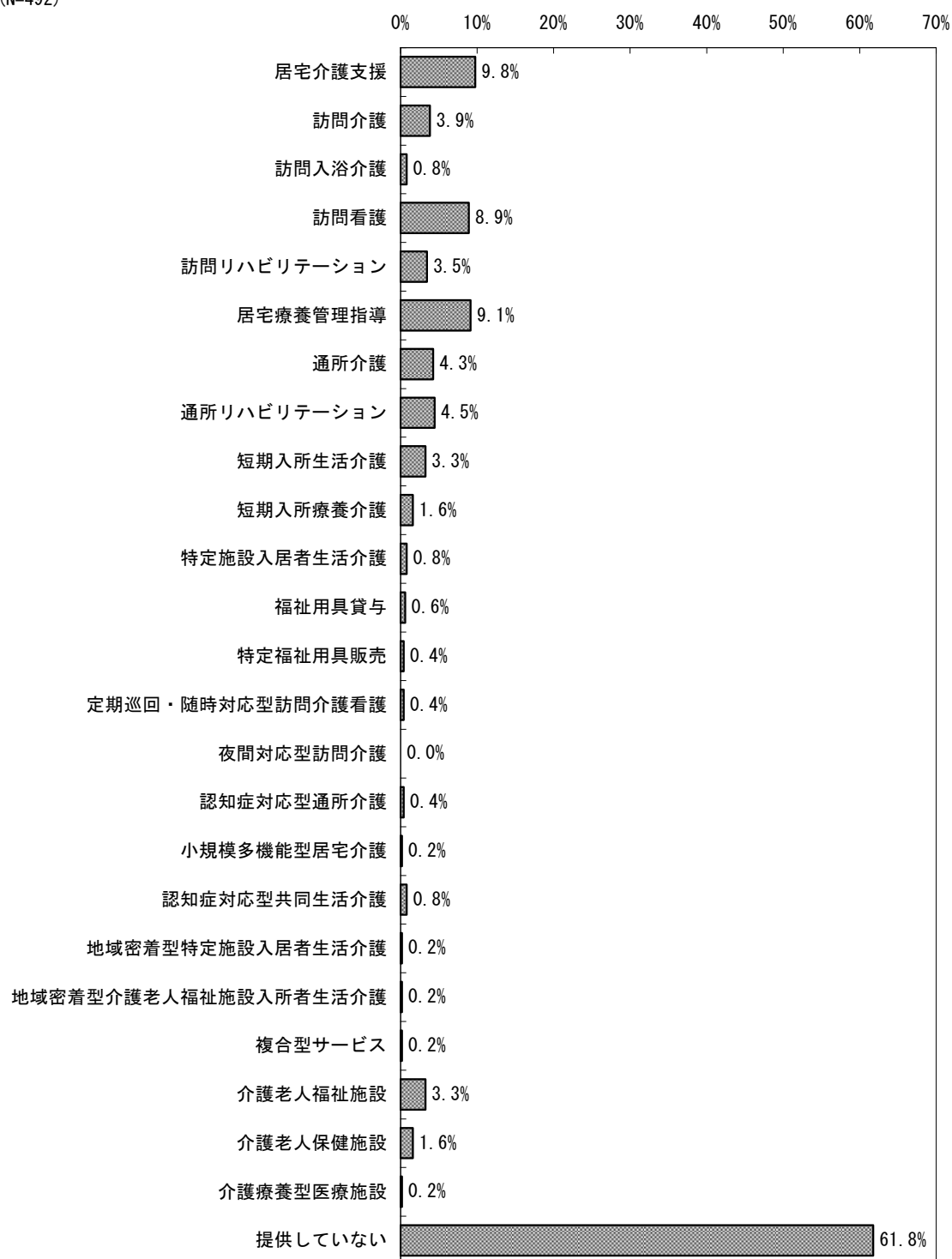


介護保険制度に関係する有資格者の在籍状況をたずねたところ、「介護支援専門員」が12.8%と最も多く、以下、「ヘルパー 2 級」が6.7%、「介護福祉士」が5.5%などとなっている。また、「有資格者はいない」は72.4%となっている。

問15 貴診療所、または、併設している事業所において提供している介護保険サービスの種類はどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

図表504 診療所・併設事業所で提供している介護保険サービスの種類（複数回答）

(N=492)

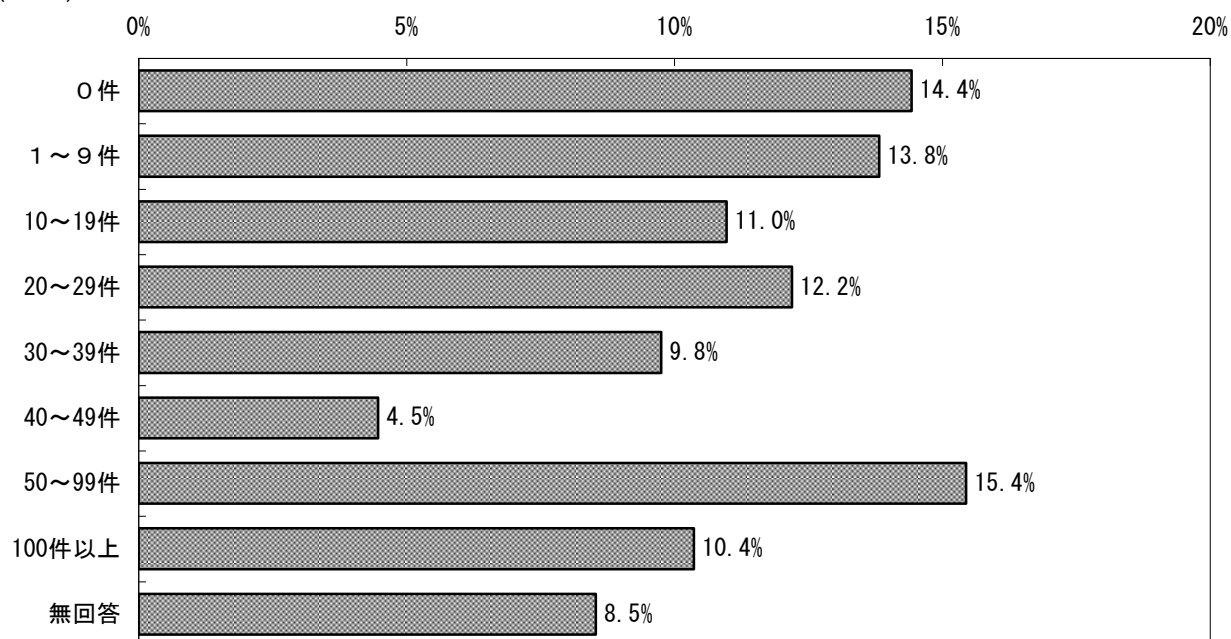


診療所、または併設している事業所で提供している介護保険サービスの種類をたずねたところ、「居宅介護支援」が9.8%と最も多く、以下、「居宅療養管理指導」が9.1%、「訪問看護」が8.9%などとなっている。また、「提供していない」は61.8%となっている。

問16 貴診療所では、1年間に平均して何件くらいの要介護認定に関する主治医意見書を作成していますか。件数をご記入ください。

図表505 主治医意見書の年間作成件数

(N=492)

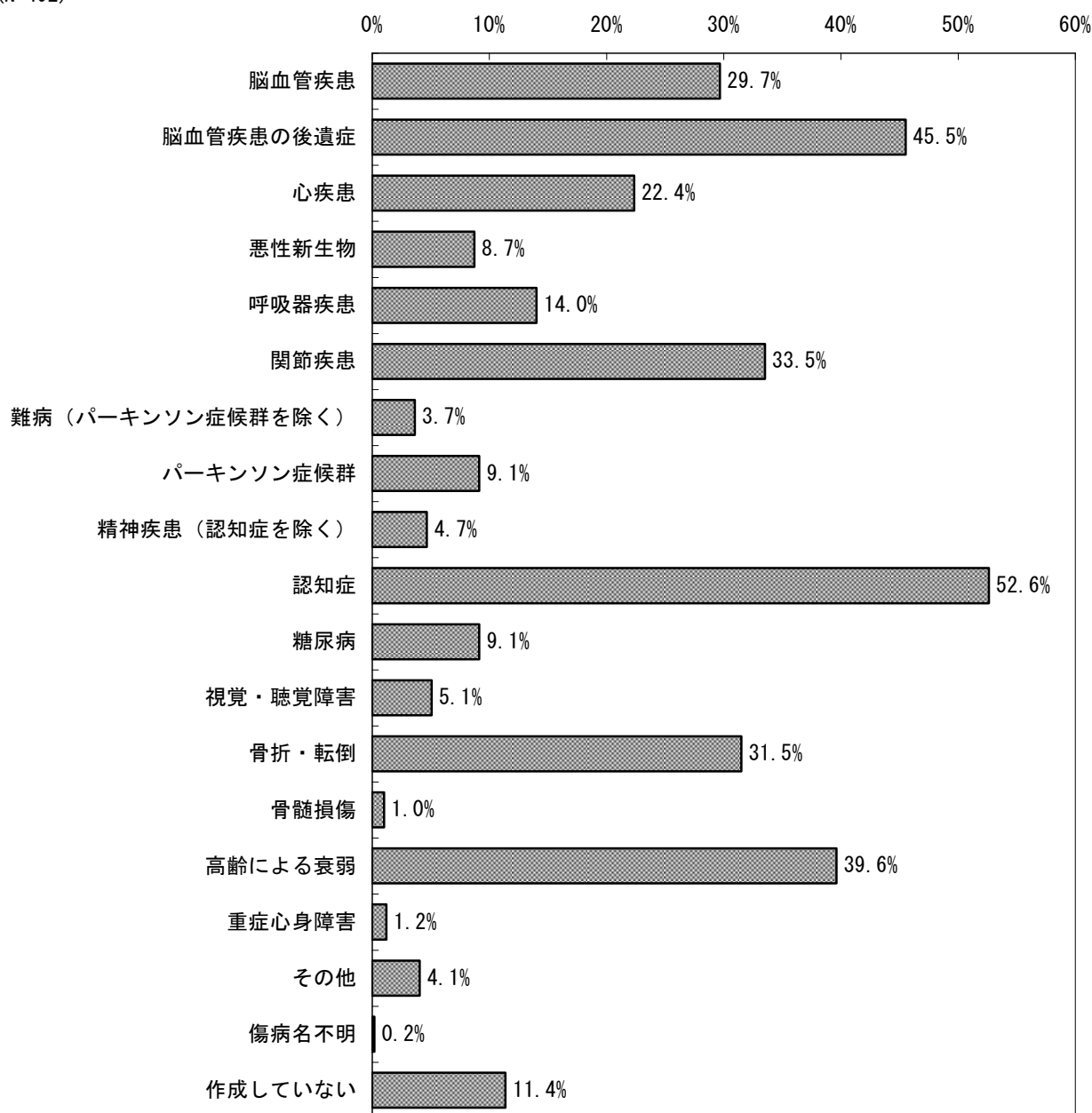


要介護認定に関する主治医意見書の年間作成件数をたずねたところ、「50～99件」が15.4%と最も多く、以下、「0件」が14.4%、「1～9件」が13.8%などとなっている。



問17 主治医意見書を作成する中で、高齢者の要介護に至る原因傷病の種類について、比較的多いものは何ですか。主なもの5つまでに○をつけてください。

図表506 高齢者が要介護に至る原因疾病の種類（複数回答）  
(N=492)



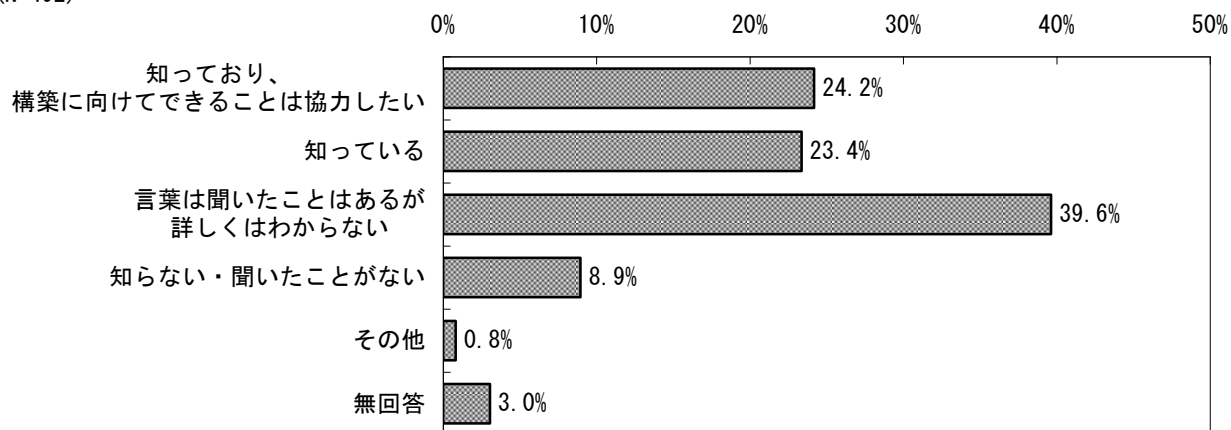
高齢者の要介護に至る原因傷病の種類で、比較的多いものをたずねたところ、「認知症」が52.6%と最も多く、以下、「脳血管疾患の後遺症」が45.5%、「高齢による衰弱」が39.6%などとなっている。また、「作成していない」は11.4%となっている。

## 5 地域包括ケアの推進体制について

問18 「地域包括ケアシステム」について知っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

図表507 地域包括ケアシステムの認知

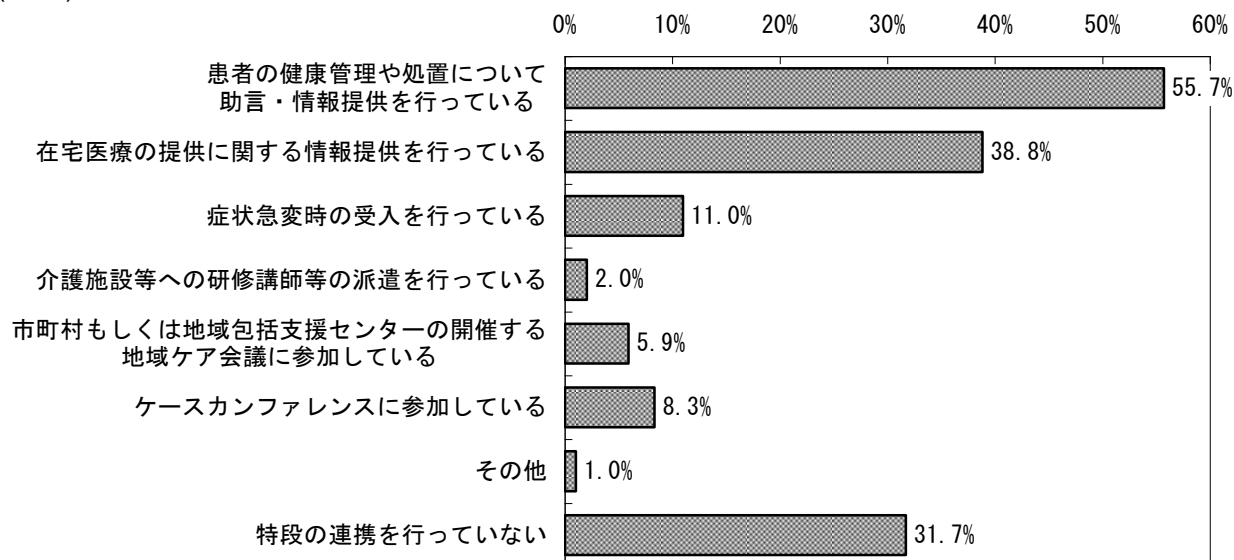
(N=492)



地域包括ケアシステムを知っているかたずねたところ、「言葉は聞いたことはあるが詳しくはわからない」が39.6%と最も多く、以下、「知っており、構築に向けてできることは協力したい」が24.2%、「知っている」が23.4%などとなっている。

問19 貴診療所では、福祉・介護部門（行政や地域包括支援センター、社会福祉協議会、他の介護サービス事業所等）とどのような連携をとっていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

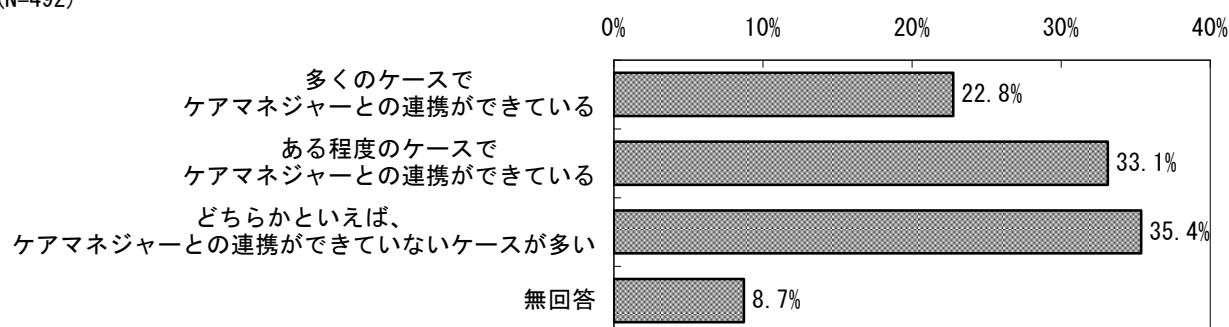
図表508 福祉・介護部門との連携状況（複数回答）  
(N=492)



福祉・介護部門との連携状況をたずねたところ、「患者の健康管理や処置について助言・情報提供を行っている」が55.7%と最も多く、以下、「在宅医療の提供に関する情報提供を行っている」が38.8%、「症状急変時の受入を行っている」が11.0%などとなっている。また、「特段の連携を行っていない」は31.7%となっている。

問20 患者本人のケアマネジャーとの連携や情報共有の状況はいかがですか。最もあてはまるもの1つだけに○をつけてください。

図表509 患者本人のケアマネジャーとの連携・情報共有状況  
(N=492)

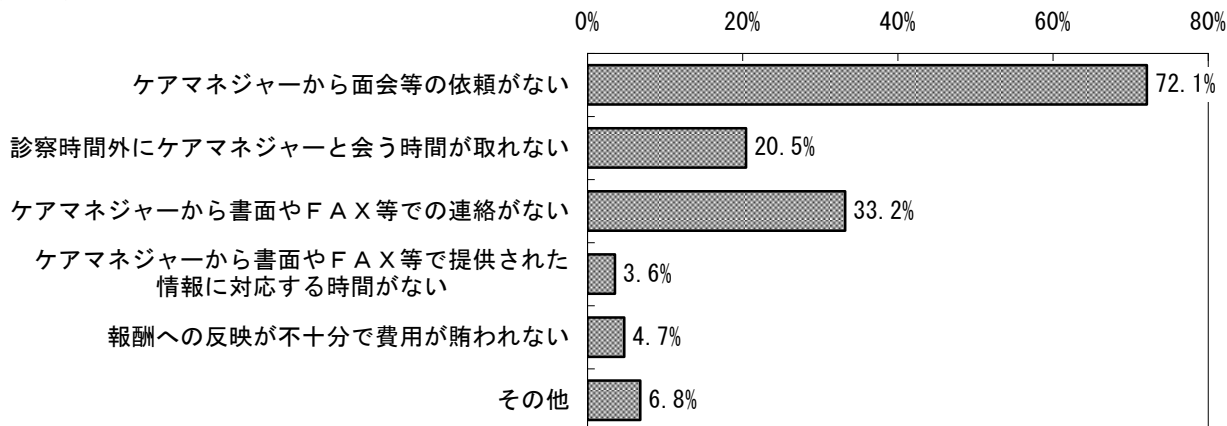


患者とケアマネジャーの連携や情報共有状況をたずねたところ、「どちらかといえば、ケアマネジャーとの連携ができていないケースが多い」が35.4%と最も多く、以下、「ある程度のケースでケアマネジャーとの連携ができている」が33.1%、「多くのケースでケアマネジャーとの連携ができている」が22.8%となっている。

問21 問20で選択肢「2」または「3」とお答えの診療所にお聞きします。貴診療所においてケアマネジャーとの連携ができていない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

図表510 患者本人のケアマネジャーと連携できていない理由（複数回答）

(N=337)

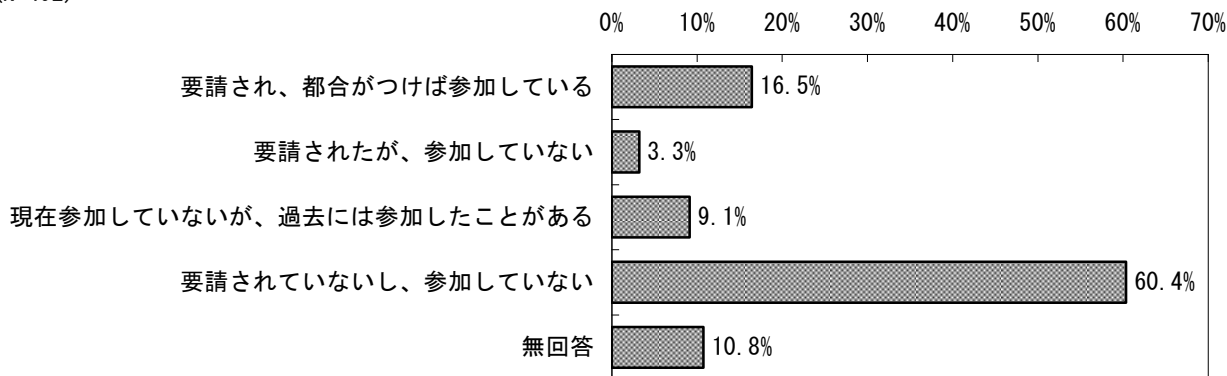


ケアマネジャーとの連携ができていない診療所に対して、その理由をたずねたところ、「ケアマネジャーから面会等の依頼がない」が72.1%と最も多く、以下、「ケアマネジャーから書面やFAX等での連絡がない」が33.2%、「診察時間外にケアマネジャーと会う時間が取れない」が20.5%などとなっている。

問22 貴診療所では、ケアプラン作成にあたって開催される「サービス担当者会議」に参加を要請され、参加したことがありますか。あてはまるもの1つだけに○をつけてください。

図表511 サービス担当者会議への参加状況

(N=492)

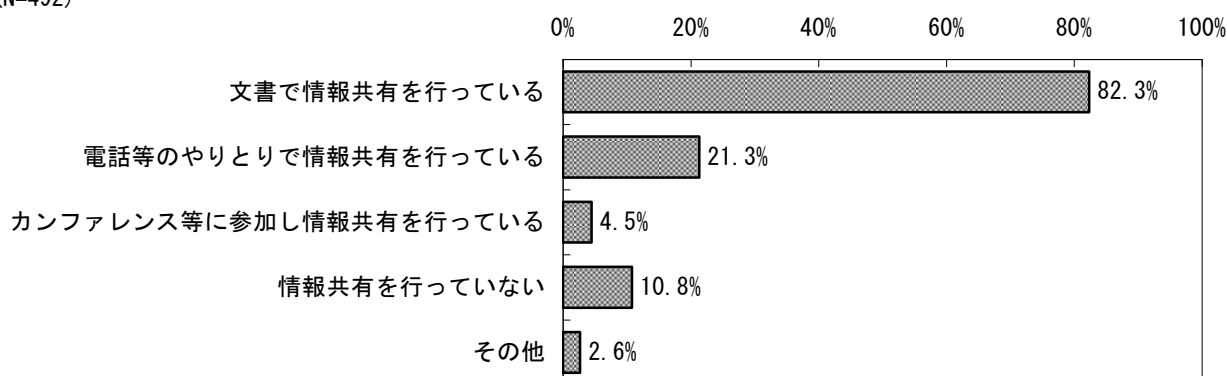


サービス担当者会議への参加状況をたずねたところ、「要請されていないし、参加していない」が60.4%と最も多く、以下、「要請され、都合がつけば参加している」が16.5%、「現在参加していないが、過去には参加したことがある」が9.1%、「要請されたが、参加していない」が3.3%などとなっている。

問23 貴診療所では、患者が入院した際に、入院先の医療機関と情報共有を行っていますか。あてはまるものに○をつけてください。

図表512 患者の入院先医療機関との情報共有状況（複数回答）

(N=492)

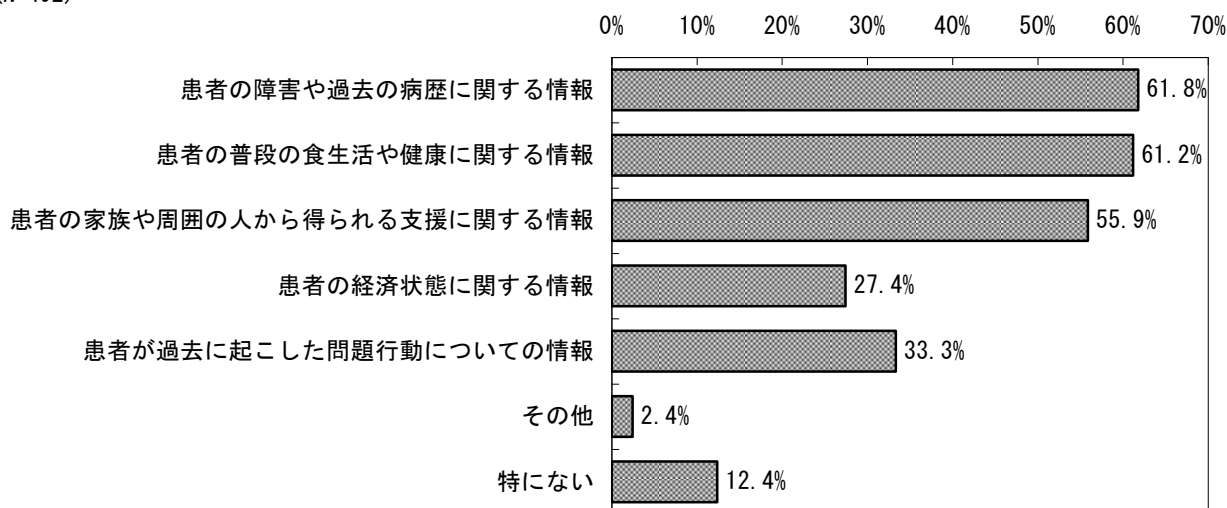


患者が入院した際の、入院先医療機関との情報共有の状況をたずねたところ、「文書で情報共有を行っている」が82.3%と最も多く、以下、「電話等のやりとりで情報共有を行っている」が21.3%、「カンファレンス等に参加し情報共有を行っている」が4.5%となっている。また、「情報共有を行っていない」は10.8%となっている。

問24 患者のケアマネジャーや利用している介護サービス事業者から提供を受ける必要がある情報にはどのようなものがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

図表513 患者のケアマネジャーやサービス事業所から提供受けたい情報（複数回答）

(N=492)

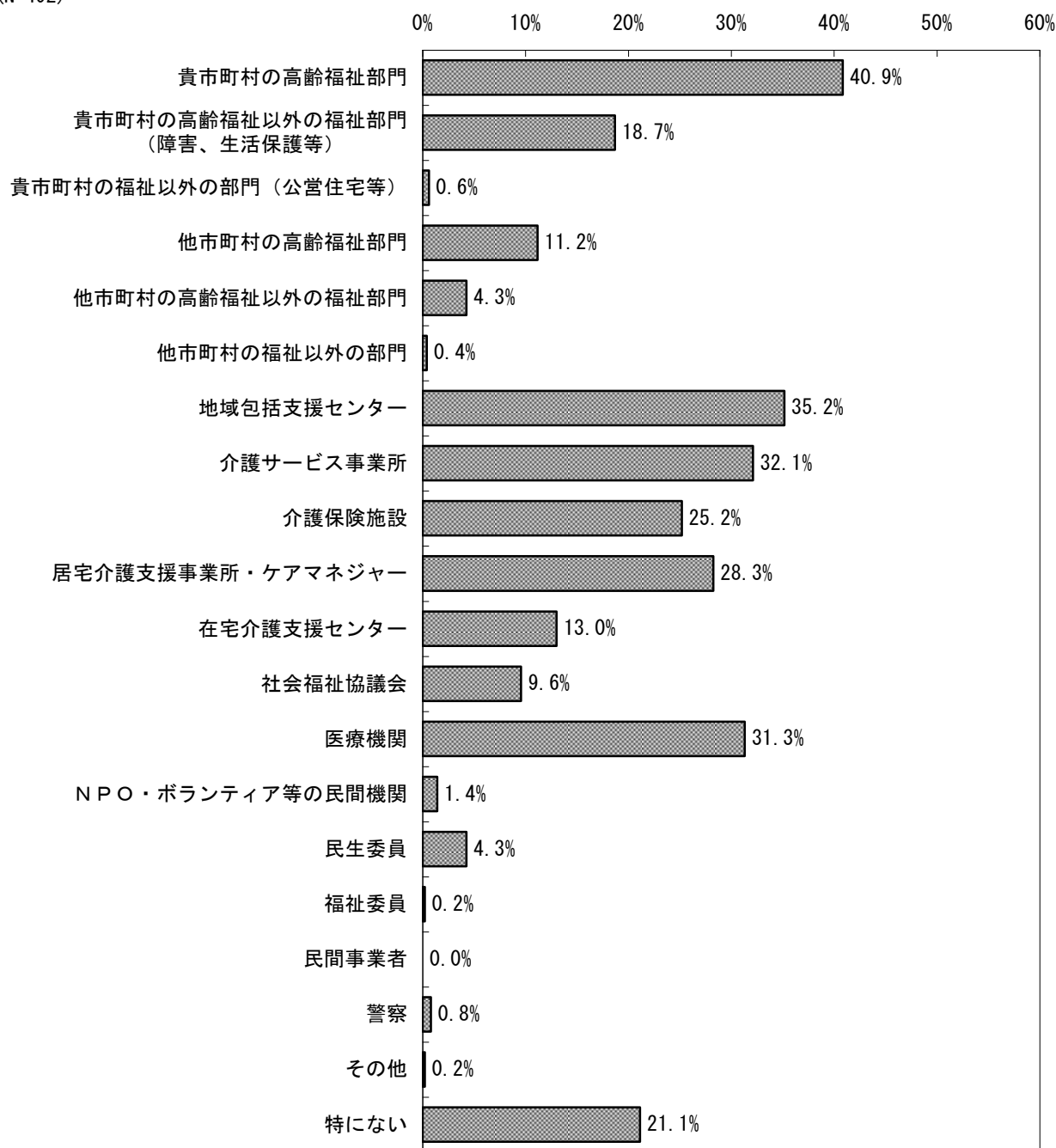


患者のケアマネジャーや介護サービス事業者から情報提供を受けたい事項をたずねたところ、「患者の障害や過去の病歴に関する情報」が61.8%と最も多く、以下、「患者の普段の食生活や健康に関する情報」が61.2%、「患者の家族や周囲の人から得られる支援に関する情報」が55.9%などとなっている。また、「特にない」は12.4%となっている。

問25 高齢者支援において、現在、連携をしている機関・窓口はどこですか。主なもの5つまでに○をつけてください。

図表514 高齢者支援で現在連携している機関・窓口の種類（複数回答）

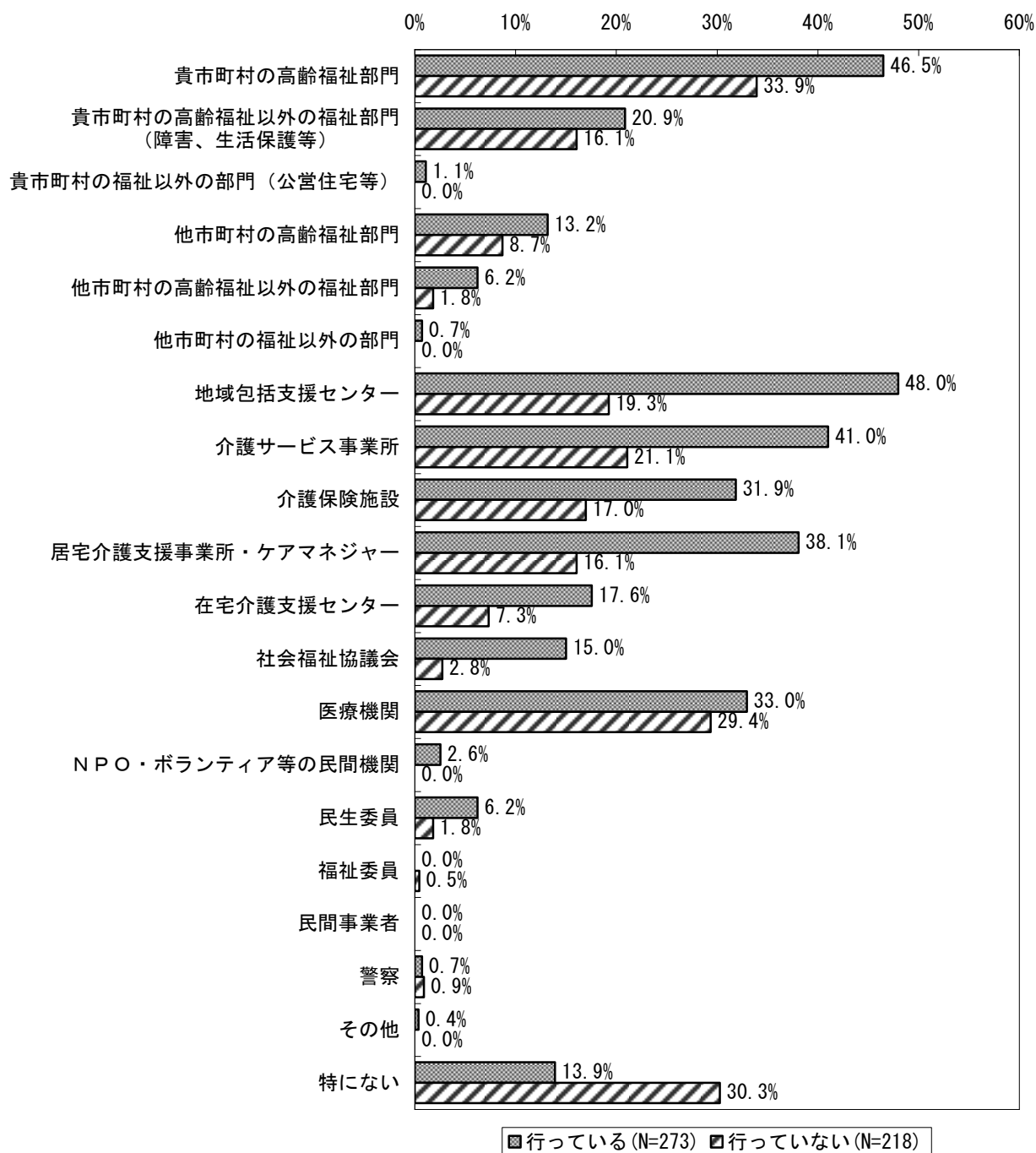
(N=492)



高齢者支援において、現在、連携をしている機関・窓口をたずねたところ、「貴市町村の高齢福祉部門」が40.9%と最も多く、以下、「地域包括支援センター」が35.2%、「介護サービス事業所」が32.1%、「医療機関」が31.3%などとなっている。また、「特にない」は21.1%となっている。

【在宅医療の実施状況別】

図表515 在宅医療の実施状況別 高齢者支援で現在連携している機関・窓口の種類（複数回答）

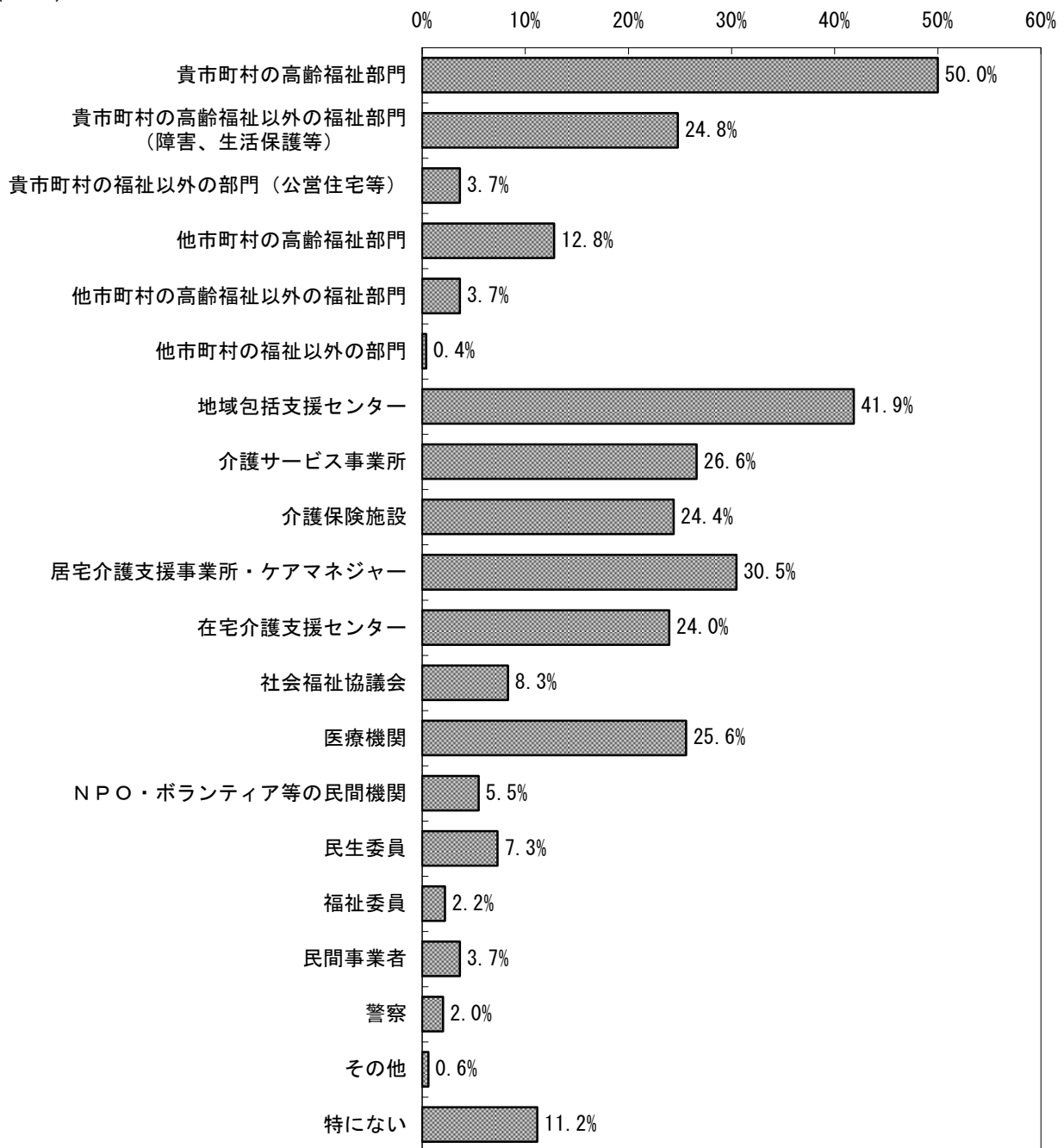


在宅医療の実施状況別にみると、在宅医療を行っている診療所では、「地域包括支援センター」、「貴市町村の高齢福祉部門」、「介護サービス事業所」などと連携しているという回答が多い。在宅医療を行っていない診療所では、「貴市町村の高齢福祉部門」、「医療機関」、「介護サービス事業所」などと連携しているという回答が多い。ほとんどの項目において、在宅医療を行っている診療所の方が、在宅医療を行っていない診療所より、連携をしているという回答が多い。また、在宅医療を行っている診療所では連携している機関・窓口が「特にない」は13.9%であるのに対し、在宅医療を行っていない診療所では30.3%と高くなっている。

問26 高齢者支援において、今後、連携を強めなければならないと考えている機関・窓口はどこですか。主なもの5つまでに○をつけてください。

図表516 高齢者支援で今後連携を強める必要があると思う機関・窓口（複数回答）

(N=492)

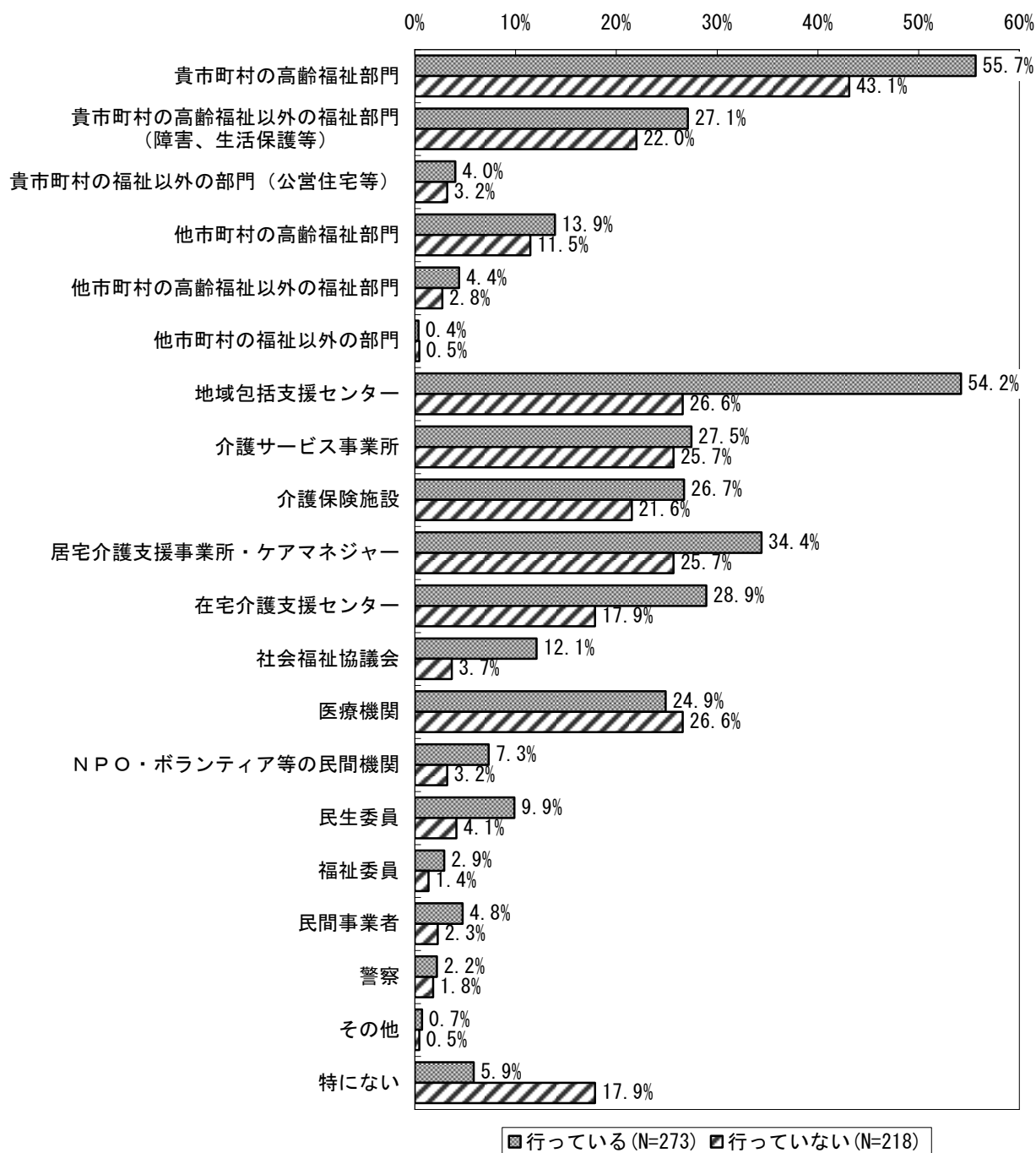


高齢者支援において、今後、連携を強めたい機関・窓口をたずねたところ、「貴市町村の高齢福祉部門」が50.0%と最も多く、以下、「地域包括支援センター」が41.9%、「居宅介護支援事業所・ケアマネジャー」が30.5%、「介護サービス事業所」が26.6%などとなっている。また、「特にない」は11.2%となっている。



【在宅医療の実施状況別】

図表517 在宅医療の実施状況別 高齢者支援で今後連携を強める必要があると思う機関・窓口（複数回答）



在宅医療の実施状況別にみると、特に、在宅医療を行っている診療所では「地域包括支援センター」との連携を強める必要があるという回答が54.2%であるのに対し、在宅医療を行っていない診療所では26.6%となっている。ほとんどの項目において、在宅医療を行っている診療所の方が、在宅医療を行っていない診療所よりも、連携の必要を強める必要があるという回答が多い。また、在宅医療を行っている診療所では「特にない」が5.9%であるのに対し、在宅医療を行っていない診療所では17.9%となっている。

